

### 原子力発電の安全に関するANSN講師育成研修<アジア7か国>を開催しました

平成26年8月4日から8日にかけて、国際原子力機関（IAEA）、福井県およびエネ研の共催で、「原子力発電の安全に関するANSN講師育成研修」を開催しました。

この研修は、IAEAと協力して、アジアを中心とする世界の原子力安全に関わる講師人材の育成に貢献するとともに、有効な人的ネットワークを形成することを目的として実施するもので、本年5月に西川知事がIAEA本部を訪問した際に、IAEA天野事務局長と協議を行い、本県での開催が実現したものです。



西川知事への表敬訪問

研修には、7か国（バングラデシュ、中国、インドネシア、マレーシア、フィリピン、タイ、ベトナム）から計12名の原子力関係者が参加し、IAEAの専門家による福島事故を踏まえての活動や原子力安全の教育に関する講義などを受講しました。

また、大飯発電所やあっとほうむ、オフサイトセンターなどの施設見学も行い、研修生たちは原子力発電関連のさまざまな施設が立地する福井県の状況を熱心に学んでいました。



IAEAの専門家による講義

### 技術講演会「ふくい成長産業創造フォーラム」を開催します

エネ研と(公財)ふくい産業支援センターでは、産学官ネットワークによる成長産業の創出・育成を目的とした「ふくい未来技術創造ネットワーク」活動の一環として、環境・エネルギー分野、健康長寿・快適生活分野等における研究者による技術講演会「ふくい成長産業創造フォーラム」を開催します。

今回のプログラムは、未来の省エネルギー社会の実現に必要な技術として、環境・エネルギー分野での成長産業のキーテクノロジーといわれている窒化物半導体デバイスに関するものです。多数のご参加をお待ちしております。

#### (講演会の概要)

1. 開催テーマ: 窒化物半導体デバイスが創造する未来の省エネルギー社会
2. 開催日時: 平成26年9月11日(木) 13:20~16:20
3. 開催場所: 福井県若狭湾エネルギー研究センター ホール
4. プログラム: 招待講演「窒化物半導体光デバイス」

(講師:国立大学法人名古屋大学 大学院工学研究科教授 天野 浩 先生)

招待講演「GaN系半導体のパワーデバイス応用」

(講師:国立大学法人福井大学 大学院工学研究科教授 葛原 正明 先生) 他

なお、参加費は無料ですが、事前登録が必要です。登録方法などの詳細につきましては、エネ研ホームページをご覧ください。エネ研・産業育成部(☎0770-24-7276)までお問い合わせください。

## 平成26年度「嶺南地域新産業創出モデル事業補助金」などの二次募集を開始しました

エネ研では、嶺南地域に事業所を有する企業の皆さまを対象に、原子力・エネルギー、地域産業活性化、環境の各分野に関連した新技術・新製品の研究開発を支援する「嶺南地域新産業創出モデル事業補助金」をはじめ、事業規模や内容に応じた3つの技術開発支援制度を設けています。

この度、「嶺南地域新産業創出モデル事業補助金」と「拠点化計画促進研究開発事業補助金」の2事業について、より多くの方にご利用いただけるよう、二次募集を開始しましたのでお知らせします。

制度名称	対象事業	対象者	補助額(補助率)	募集
嶺南モデル事業	(基礎研究枠) 技術シーズの実用化の可能性を探索するための調査および基礎的な実験	①嶺南地域に事業所を有する企業 ②上記①を含むグループ	200万円以下 (2/3以内)	8/26 ~ 9/26
	(実用化研究枠) 実用化に向けた試作品・試作機等の開発および販路開拓		600万円以下 (2/3以内)	
拠点化計画促進事業	①原発事故に対応する技術開発の推進、将来の廃炉に備えた対応 ②エネルギーの多元化への対応	①福井県内に開発拠点となる事業所を有する企業 ②上記①を含むグループ	2,000万円以下 (2/3以内)	

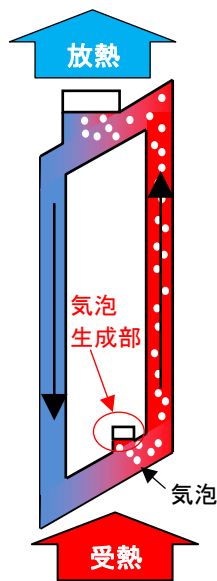
【問い合わせ先】 エネ研・産業育成部 ☎0770-24-7276

## エネ研 特許紹介 「ループ型ヒートパイプ」

発明の名称：ループ型ヒートパイプ

特許番号：特許第4771964号

循環式ヒートパイプの原理



### 【特許の概要】

エネ研では、動力を使わない熱輸送システムとして、「気泡駆動型循環式ヒートパイプ」を発明し、特許を取得しています。

ヒートパイプの内部は、減圧したり沸点の低い液体を充填することにより、液体が沸騰しやすい状態になっています。このため、下部で熱を受けると液体が沸騰して蒸気が発生し、これが気泡生成部において気泡となり、その浮力により、上部へ熱を運びます。気泡は上部スペースで冷やされ再び液化し、下部へ循環することにより、動力を使わず大量の熱を運ぶことが可能となります。

### 【特許の活用方法】

現在、このシステムは防火水槽の熱を利用した防火水槽鉄蓋の融雪装置等に導入されています。

また、地熱やボイラーの排熱を利用した冷暖房や駐車場等の融雪装置への活用を目指し、研究を進めています。

エネ研では、この特許がこれらの用途以外にも、電気機器の放熱など、様々な活用されることを期待しています。



防火水槽鉄蓋用循環式ヒートパイプ

